

Rainbow Project 日本語版 会話：都電編解説

日本語学習者にとっては、大阪方言はそれまでに習っていない日本語なので、別言語と思う人がいるようです。それはどの言語を学んでも、いわゆる共通語以外で話しているのを聞けば同じことを感じます。都電編では、大阪方言に加えて岡山方言も登場します。ともに共通語の言いまわしやイントネーションとは異なりますが、方言そのものを聞き取れなくても会話の流れが理解できるかどうかを確認してみてください。

都電編では、これまでの共通語と大阪方言の対照ではなく、都電で移動している観光客が織りなす会話でストーリーが成り立っています。その中で、様々な場面での「分かりません」という言い方が登場します。少し外国語を喋ってみたけれども、相手の返答が分からず「分かりません」と言ってしまった『旅のお供に今すぐ使えるトルコ語入門』第4課を元にしてあります。本編では、大阪方言は添乗員のみになります。ある程度日本語共通語が聞きとれるようになったレベルで、登場人物の人間関係をよみとりながら、その人がどういう意図で話しているかを理解していただければと考えております。

なお、撮影時間の制約により収録できる会話が限られていることをあらかじめご了承ください。

1. わからん、聞いてみれば

妻はこれからの観光を楽しみにしています。一方で、夫はどういう気持ちで妻に同行しているかがポイントとなります。

妻 「次、どこに行くんだっけ」

夫 「わからん。聞いてみれば」

妻 「そうするね」

2. よくわかんないんです

妻が同乗する他の観光客にこれからの行程を尋ねていますが、そちらも分からなかったという設定です。あまり面識のない観光客同士の会話なので、柔和な感じで丁寧に話しています。

妻 「次、どこへ行くか、ご存知ですか」

共通語 「ごめんなさい。ノープランで来ちゃったんで、よく分かってないんです。」

妻 「うちもそうなんですよ。失礼しました」

なお、学生の「ノープラン」という台詞は、駅前編の会話とリンクしています。

3. わかんないって

隣の観光客に尋ねた妻が、分からなかった旨を夫に報告します。妻は夫への報告ですから、くだけた表現を使っています。ただ、夫の態度に対して妻は怪訝^{けげん}な顔になります。

妻 「わかんないって」
夫 「そうか。なら、しょうがない」
妻 「何がしょうがないの？」

4. あの人に聞いてみりゃええが

妻に尋ねられて、自分たちが分かっていなかった学生観光客が、添乗員に尋ねてみようとする場面です。表現形式はCHAPTER1の「分からん」と同じ「分からん」が使われていますが、こちらは不機嫌に話しているわけではなく、岡山方言として自然に話しています。

共通語 「次、どこに行くんだったっけ？」
岡山方言 「分からん。あの人に聞いてみりゃええが」
共通語 「じゃあ、そうしょ」

「ええが」は岡山方言の表現形式で、共通語にはありません。文末の「が」はここでは「よ」に相当しますが、「いいよ」よりはくだけた言い方になっています。大阪方言の「ええやん」に近い感じがします。

5. あとどれぐらいで着きますか

飛行機編と同じ設定になりますが、飛行機編より会話は長くなっています。このCHAPTER1では「分かりません」は出てきません。ここでは、岡山方言の解説をしておきます。

岡山方言 「はじめて行くところじゃけえ、で一れ一楽しみじゃわあ」

「じゃ」は共通語の「だ」、「じゃけえ」は共通語の「だから」、「で一れ一」は共通語の「すごく」に相当します。これを直訳して「はじめて行くところだから、すごく楽しみだわ」とすると、少しよそよそしい感じになり、岡山方言らしさは失われます。

大阪方言 「じゃーじゃー。お客さん、岡山の方ですね」

「じゃーじゃー」は共通語の「そうだそうだ」に相当します。添乗員が岡山方言を知っていましたので岡山方言で返答し、その流れて思わずくだけた口調になった結果、「お客さん」

と行ってしまっています。

共通語 「あと、どれくらいで着きますか？」

大阪方言 「あとねえ…… あと 10 分ぐらいです」

「あとねえ」の後で時計を見るしぐさは、飛行機編の反省をふまえたものです。

6. わからへんは話にならんやろ

観光客相手の時にはよそいきの大阪方言を話していた添乗員が、部下である新人添乗員に対してはくれた大阪方言で話しています。大阪方言には、共通語と異なる待遇差があります。

新人 「今日行くところはじめてなんで、よく分かってないんですよー」

大阪方言 「あんなあ、わからへんは話にならんやろ」

ここでの上司と部下の上下関係は厳しくないという設定です。チャプター2のお互いによく知らない関係である観光客同士の会話と同じ表現形式ですが、文末を伸ばすことで待遇の度合いが下がっています。上司はそれほどいらいらしているわけではありませんが、下調べをしていない新人添乗員を叱っています。「～へん」は共通語の「～せん」に相当しますが、ここでの「わからへん」は「分かってない」をそのまま置き換えた形で話しています。この場面では「わからへん>わからん」という待遇の度合いの違いがあります。また、「わからへん」は少し考えたけれども理解できていない、「わからん」は大して考えていないから理解できていない、という意味になります。なお、「わからへん」は京都方言、「分かれへん」は大阪方言という区別が流布していますが、大阪方言には3種の下位区分があり、この添乗員は摂津方言話者ですので「わからへん」が自然な言い方です。

7. なにか観光できるところって

上司に叱られた新人添乗員が、観光客の質問に答えるという設定です。さすがにこの場面で「分かりません」ということはできません。

8. 学生2人組の感想

観光を楽しんだ学生のお気楽な会話をお楽しみください。

9. 夫婦とその友人の感想

夫が何故つれない返事であったか、友人が何故ずっとスマホをいじっていたのかが明らかになります。